

黒斑山山行報告

【山行日】2024年3月17(日) 曇り

【集合】岩舟支所P AM 6:30

【費用】マイカー1台 : 3,500円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬

飯野、鈴木ミ、福島、藤原ト

【コースタイム】岩舟支所 P6:30=車坂峠

P8:30/8:50~黒斑山登山口 8:55/9:10~

槍ヶ鞘 10:20/10:30~トミーの頭 10:50/11:00

~黒斑山 11:20/11:30~中コース分岐 12:00

~中コース展望所 12:05/12:35~車坂峠P

13:05/13:20=横川SA14:15/14:30=

岩舟支所P15:35

当初は赤城の黒檜山の予定だったが、今年は降雪が少なく黒檜山は雪が少ないと判断し、浅間の黒斑山に変更して計画した。岩舟支所を6:30に出発し、北関東道から上信越道を走り小諸ICで



降りて車坂峠に着く。高峰高原ホテルの駐車場に車を止め、ホテルのトイレを利用しようとしたら、入口に「トイレの利用は10時からです」と看板が立てられていた。仕方が無くビジターセンターに移動して車を止め、丁度8:30から開館しトイレが利用できた。準備を整えたら出発し、駐車場から道路に出て右に進み表コース登山口に向かう。登山口に着いたらストレッチを行い、アイゼンを付けて出発する。カラマツ林の道を緩やかに登って行き、車坂峠を越えて一旦下り鞍

部から樹林帯の長い登りが始まる。一步一步ゆっくり登って行き、所々で樹林がとぎれ小諸方面の展望が得られる。シラビソの尾根を忠実に登って行き、前方に黒斑山が見えるようになると避難用のシェルターに着く。この先の稜線に出た途端、目の前に大迫力で浅間山が現れ「ウワ~ガトウショコラの浅間山だ~」と皆さん大興奮。「画像で見て来たけど本物の方が断然素晴らしいね」、「これを見に登って来たので、見られて良かった!!」と感動していた。槍ヶ鞘に着き、素晴らしいガトウショコラの浅間山をゆっくり堪能する。



2日前に降雪があり、白く筋を引いて裾野に流れる姿の上に、さらに砂糖を振り掛けたような浅間山



はなんとも美しい。絶景を堪能しながらリンゴをいただき、景色を満喫したら槍ヶ鞆を後にして、目の前に見えるトミの頭へ向かう。一旦鞍部まで下り、本コース一番の急坂を上って行く。右側はスパッと切れ落ちており、一步一步慎重に登って行く。登り上がった岩稜がトミの頭で、ここからの展望も素晴らしい。風が強いので長居は出来ず、記念写真を撮ったら黒斑山へと向かう。この先は外輪山の稜線を進み、東側は断崖絶壁だが西側は樹林帯の斜面になっている。

時折樹林が途切れ、右側に浅間山を見ながら稜線上に登って行く。登り上がったピークが2404mの黒斑山で、ここからの浅間山の展望も素晴らしい。只、強風の影響で山頂に雲が掛かりはじめ、賞味期限はもうすぐ切れてしまいそうだ。おやつをいただきながら展望を楽しみ、それぞれがスマホに浅間山を収めていた。ここから蛇骨岳まで

足を延ばす予定だったが、風が強いので断念し下山開始する。下山は往路を戻り、トミの頭の前から中コースを下って行く。

中コースは谷あいの樹林の中を下る道で、しっかりトレースがつけられてとても歩き易い。しばらく樹林帯の中を下り、突然樹林が切れて展望が開けた場所に出る。ここは風も弱いので、ここでランチタイムとする。

雪を踏み固めて各自場所を確保し、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。高峰山や水ノ塔山、箆の登山、四阿山等々の展望を楽しみながら、おにぎりやパンを美味しくいただいた。

ランチが済んだら下山開始し、沢沿いのトラバース道を下って行くと平坦な道になり、まもなく駐車場脇の道路に出る。駐車場に着いたら靴を履き替え、ビジターセンターでトイレを済ませて帰路につく。往路を戻り上信越道の横川SAに寄って買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。

